

サッカーサポーターに見る日本人のマナー

注目していたサッカーの世界カップは残念ながら日本の予選敗退となりましたが、この大会で世界に注目されたのが日本人のマナーでした。初戦のコートジボアールに敗戦した直後、日本サポーターが応援で使用したブルーのビニル袋をゴミ袋に変え、スタジアムのごみを拾ったことが世界中の話題となりました。

この行為を皆さんはどのように受け止めたでしょうか。こうした行為は日本が初めてワールドカップに出場したフランス大会から行われていたと聞きました。こうした報道に日本人として嬉しくない訳はありませんが、私はつい身近な大人や中高生などの若者のマナーについて考えてしまいました。

よりよい社会を形成していくために、様々なことが求められますが、信頼と礼儀(マナー)は重要な要素ではないかと思えます。学校においても同様です。学校は生徒・教職員を合わせて900人を超える人が多くの時間を共有する空間です。皆が気持ちよく生活するためには、ルールを守り、他の人に不快な思いをさせたりする行動は互いに慎まなければなりません。

例えば、「ゴミを放置してはいけない」ことや「電車の中で大声を出したら迷惑になる」ことは、誰もが分かっていることです。でも、全員が実践できているかという疑問符が付きます。頭で理解していること(道徳的価値)を行動に移すこと(道徳的実践力)が意外にできていないのではないのでしょうか。

例えば「校則に規定がないから髪を染める」などの行為は、青高の細かな校則で生徒を縛らないトップ校としての矜持を貶めるものだと思います。規定に「無いからする」「あればしない」などという低次元で物事を捉える高校生になってほしくはありません。

青高生には道徳的価値を理解し、それを行動できる高校生であってほしいと願っています。

第2回ビブリオバトル、優勝は北村さん！

第2回ビブリオバトル(書評合戦)が6月16日(月)・17日(火)に予選、20日(金)に決勝が行われました。今年はお出場者が6人で、予選1位と2日間を通じて3番目の得票があった3人(1年1組古田梨花さん、2年7組赤池真樹君、3年4組北村理紗さん)による決勝が行われました。その結果、北村理紗さんが紹介した『「ニッポン社会」入門』(コリン・ジョイス著/谷岡健彦訳)がチャンプ本に決定しました。北村さんは予選の『言葉の誕生を科学する』(小川洋子・岡ノ谷一夫著)でも圧倒的な得票を獲得しました。都大会(9月28日開催)への出場については「受験生なので、勉強が気になり」と複雑な表情をしていました。

今年は参加者が少なかったことや発表者への質問が

あまり出なかったことが気になりました。読書離れが指摘されていますが、こうした書評を聞いて、「読んでみよう！」という青高生が増えることを期待しています。図書委員会の皆さん、ご苦労様でした。

同窓会からビックなプレゼントが！

同窓会の総会が6月22日(日)行われました。来年1月18日で創立75周年を迎えることから、その記念事業として、体育館の緞帳と校旗を寄贈することが提案され、了承されました。

体育館の緞帳は体育館が竣工した昭和60(1985)年に、同窓会から寄贈されたものですが、30年経って相当に痛んでおり、一部破損している箇所もあって、「同窓生として大変恥ずかしい状況」を、この機会に一新しようということです。大変ありがたい申し出であり、謹んでお受けしたいと考えています。「開校記念日には間に合うようにしてほしい」との要望もあります。3年生の卒業式が新調した緞帳の体育館で実施できることを嬉しく思っています。

この日200人を超える同窓生の皆さんに、青高が進学指導重点校として再指定されたことを報告すると、大きな拍手がわき起こりました。2年前に指定から外れ暫定措置になったことに対して、大変心配してくれていました。良い報告ができ、ホッとしました。

青高6月の表情



【左上】体育祭：応援団特別賞を受賞した青団の演技

【右上】体育祭：1年生クラス対抗全員リレーのバトン渡し

【左下】ビブリオバトルで優勝した北村理紗さん

【右下】PTA委員全体会で校歌を歌いました(14日)

※体育祭の写真(校長撮影)は校長室前に掲示しています。

【7月の主な予定】

○3日(木) 期末考査(～8日)

○9日(水) 外部模試(全学年)

○10日(木) 外部模試(3年)

オリンピック教育推進校外授業始(～16日:1年)

○11日(金) 大学探訪(2年)

○12日(土) 入試問題解説会(中学生対象)

○14日(月) 答案返却(～15日)

○17日(木) 薬物乱用防止教室

○18日(金) 一学期終業式

○21日(月) 夏季休業日始(～8月24日)